

救 助



救助業務の状況

本市の救助業務体制は、平成7年4月から4署体制とし、各署に救助隊を配置しています。

教育訓練は、救助隊教育訓練実施計画に基づき、年間及び月間実施計画を定めて気力、体力の充実強化を図り、隊員の技能向上に努めています。

なお、平成14年から特殊災害（生物剤、化学剤に起因する事故等）に対応する資器材の整備強化を図るとともに、近年多発する大規模自然災害やテロ等の特殊災害に迅速的確に対応するため、人命救助に関する高度な知識・技術を身につけた隊員で構成する高度救助隊（スーパーレスキュー松山 2隊14名）を平成18年4月に創設し、中央消防署に配置しました。

救助隊の編成

(総員55名 車両10台) (令和4年4月1日現在)

		隊 編 成			人 員	配 置 車 両
高度救助隊	中央消防署	一部	隊長 隊員	1 6	名 名	救助工作車Ⅲ型 (2.9tクレーン付) 特殊災害資機材車
		二部	隊長 隊員	1 5	名 名	
特別救助隊	東消防署	一部	隊長 隊員	1 6	名 名	救助工作車Ⅱ型 (2.9tクレーン付) 小型動力ポンプ付軽積載車
		二部	隊長 隊員	1 6	名 名	
救助隊	南消防署	一部	隊長 隊員	1 6	名 名	救助工作車Ⅱ型 (2.9tクレーン付)
		二部	隊長 隊員	1 6	名 名	
救助隊	西消防署	一部	隊長 隊員	1 6	名 名	救助工作車Ⅱ型 (2.9tクレーン付) 大型高所放水車 小型動力ポンプ付積載車 拠点機能形成車 消防ポンプ自動車 (中島支所)
		二部	隊長 隊員	1 6	名 名	



中央消防署 救助工作車Ⅲ型



東消防署 救助工作車Ⅱ型

救助出動等の状況

令和3年中の救助出動件数は、213件（前年229件）、活動件数は、159件（前年175件）であり、前年と比較すると、出動件数は16件（7.0%）、活動件数は16件（9.1%）減少しています。

また、救助人員は133人（前年146人）で、前年と比較すると、13人（8.9%）減少しています。

（各年中）（▲減少）

区 分		令和3年	令和2年	増減 (A-B)	増減率
		A	B	C	(C÷B×100)%
出 動 件 数		213	229	▲ 16	▲ 7.0
活 動 件 数		159	175	▲ 16	▲ 9.1
救 助 人 員		133	146	▲ 13	▲ 8.9
内 訳	男性	71	68	3	4.4
	女性	62	78	▲ 16	▲ 20.5
出 動 台 数		1,223	1,311	▲ 88	▲ 6.7
出 動 人 員		4,136	4,320	▲ 184	▲ 4.3
事 故 種 別 出 動 件 数	火 災	17	15	2	13.3
	交 通	36	52	▲ 16	▲ 30.8
	水 難	14	8	6	75.0
	自 然 災 害	1	2	▲ 1	▲ 50.0
	機 械	8	5	3	60.0
	建 物	104	90	14	15.6
	ガ ス ・ 酸 欠	4	3	1	33.3
	破 裂	0	0	0	—
	そ の 他	29	54	▲ 25	▲ 46.3

（注）火災での出動件数は、救助活動を行った件数のみ計上しています。

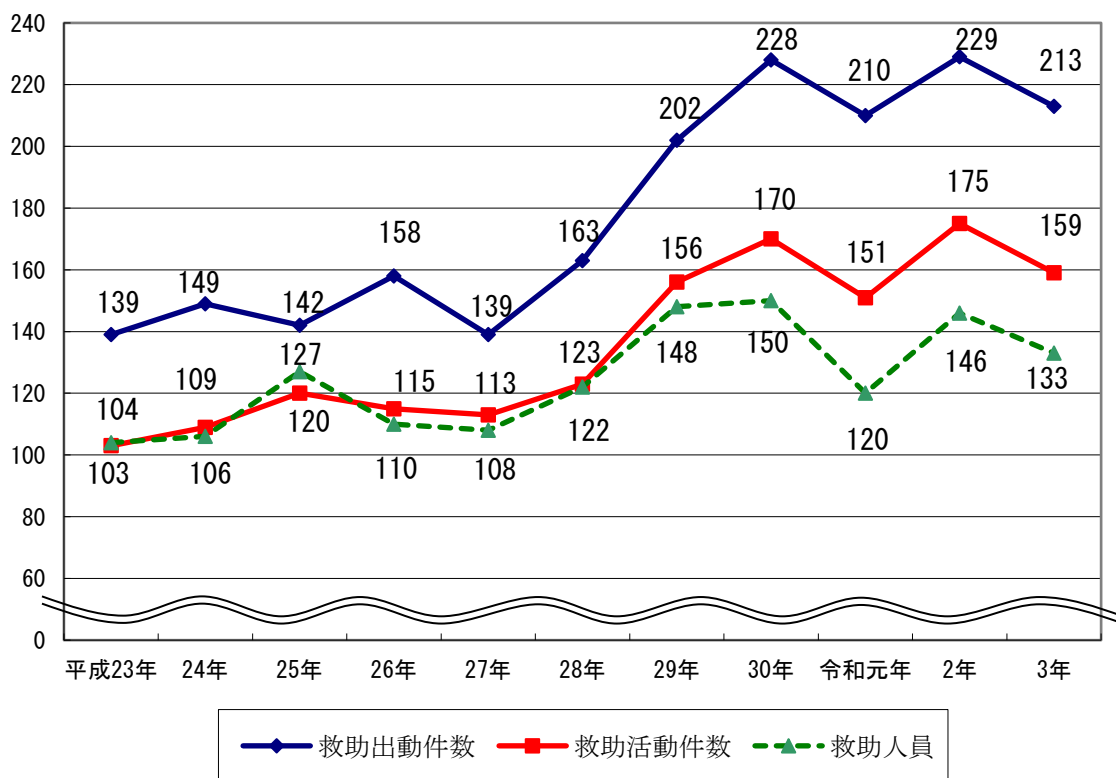
救助出動等の推移

10年前の平成23年を指数100とした場合、出動件数153、活動件数154、救助人員128となっています。

(各年中) (▲減少)

区分 年	救助出動件数			救助活動件数			救助人員		
	件数	指数	対前年 増減率 (%)	件数	指数	対前年 増減率 (%)	人数	指数	対前年 増減率 (%)
平成23年	139	100	—	103	100	—	104	100	—
平成24年	149	107	7.2	109	106	5.8	106	102	1.9
平成25年	142	102	▲ 4.7	120	117	10.1	127	122	19.8
平成26年	158	114	11.3	115	112	▲ 4.2	110	106	▲ 13.4
平成27年	139	100	▲ 12.0	113	110	▲ 1.7	108	104	▲ 1.8
平成28年	163	117	17.3	123	119	8.8	122	117	13.0
平成29年	202	145	23.9	156	151	26.8	148	142	21.3
平成30年	228	164	12.9	170	165	9.0	150	144	1.4
令和元年	210	151	▲ 7.9	151	147	▲ 11.2	120	115	▲ 20.0
令和2年	229	165	9.0	175	170	15.9	146	140	21.7
令和3年	213	153	▲ 7.0	159	154	▲ 9.1	133	128	▲ 8.9

(件/人)



事故種別・署別出動の状況

事故種別ごとに救助活動の状況をみると、出動件数で最も多いのは、建物等による事故の104件で、全体の48.8%を占め、次いで交通事故の36件(16.9%)となっています。

活動件数で最も多いのは、建物等による事故の79件で、全体の49.7%を占め、次いでその他の事故の23件(14.5%)となっています。

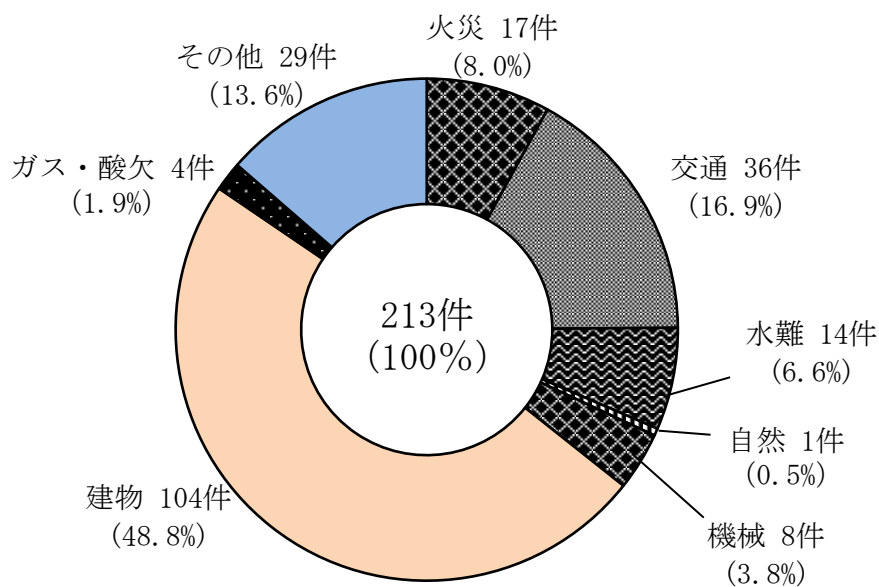
また、救助人員についても、建物等による事故が最も多く59人で、全体の44.4%を占め、次いで交通事故の24人(18.0%)となっています。

(令和3年中)

事故種別 署別		火	交	水	自	機	建	ガ	破	そ	合
		災	通	難	然	械	物	ス・酸欠	裂	他の	計
中央消防署	出動件数	6	13	3	1	4	37	1		4	69
	活動件数	6	9	3	1	2	32	1		4	58
	救助人員	1	10	3	2	2	24	1		3	46
	出動台数	68	62	19	2	24	188	7		23	393
	出動人員	265	205	59	6	76	614	20		73	1,318
東消防署	出動件数	4	3	2			22			8	39
	活動件数	4	1	1			14			6	26
	救助人員	2	1	0			11			6	20
	出動台数	45	16	12			111			36	220
	出動人員	166	53	38			359			116	732
南消防署	出動件数	6	15	1		1	26	3		9	61
	活動件数	6	10	1		1	21	2		6	47
	救助人員	0	11	0		1	15	1		6	34
	出動台数	57	82	6		7	134	21		44	351
	出動人員	218	250	21		23	434	61		140	1,147
西消防署	出動件数	1	5	8		3	19			8	44
	活動件数	1	2	3		3	12			7	28
	救助人員	10	2	2		3	9			7	33
	出動台数	17	33	68		18	94			29	259
	出動人員	79	182	220		58	296			104	939
合計	出動件数	17	36	14	1	8	104	4	0	29	213
	構成比(%)	8.0	16.9	6.6	0.5	3.8	48.8	1.9	0.0	13.6	100.0
	活動件数	17	22	8	1	6	79	3	0	23	159
	構成比(%)	10.7	13.8	5.0	0.6	3.8	49.7	1.9	0.0	14.5	100.0
	救助人員	13	24	5	2	6	59	2	0	22	133
	構成比(%)	9.8	18.0	3.8	1.5	4.5	44.4	1.5	0.0	16.5	100.0
	出動台数	187	193	105	2	49	527	28	0	132	1,223
出動人員	728	690	338	6	157	1,703	81	0	433	4,136	

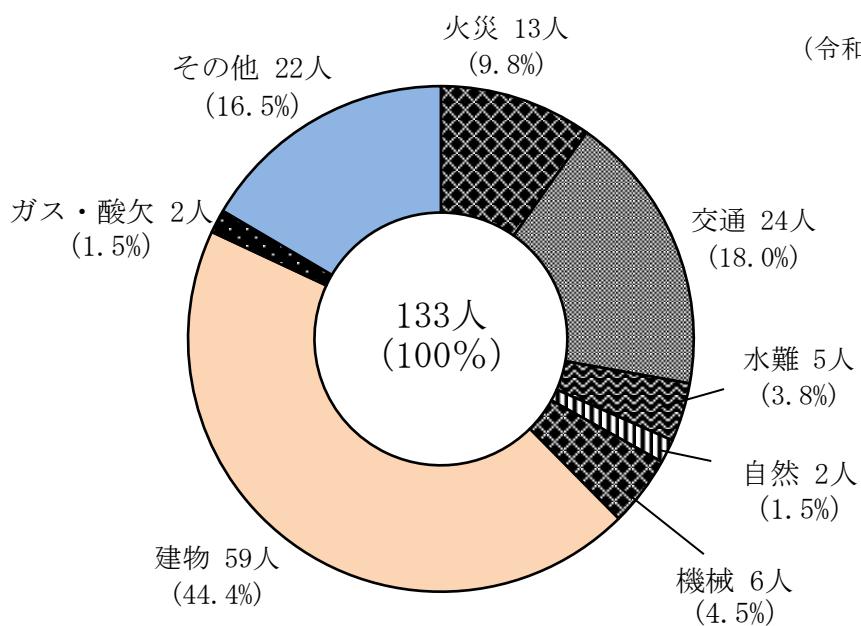
事故種別出動件数と構成割合

(令和3年中)



事故種別救助人員と構成割合

(令和3年中)



月別救助出動等の状況

月別に出動の状況をみると、12月が最も多く24件で、次いで1月と3月の23件となり、月平均17.8件の出動となっています。

(令和3年中)

区分 月別	出動件数	活動件数	救助人員	事故種別出動件数								
				火災	交通	水難	自然	機械	建物	ガス・酸欠	破裂	その他
1月	23	16	10	4	1	1		1	13			3
2月	21	19	14	2	1			1	10			7
3月	23	16	13	1	6	1		2	10			3
4月	7	6	13	1	2				3	1		
5月	22	18	14		3	3		1	14			1
6月	15	12	10	1	1	1			9			3
7月	11	8	5	2	3	1			5			
8月	19	14	10	1	4	1	1		10			2
9月	14	12	10	1	2	1		1	7			2
10月	18	10	10	2	3	2			8	2		1
11月	16	13	11	2	2	1		2	6			3
12月	24	15	13		8	2			9	1		4
合計	213	159	133	17	36	14	1	8	104	4	0	29

事故種別・傷病程度別救助人員

救助人員を事故種別・傷病程度別で見ると、建物等による事故の中等症が27人(20.3%)と最も多く、次いで建物等による事故の軽症と交通事故の軽傷がそれぞれ12人(9.0%)の順になっています。

(令和3年中)

区分	死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計
火災		2		11		13
交通	3	2	3	12	4	24
水難	1			3	1	5
自然					2	2
機械		2	2	1	1	6
建物	1	9	27	12	10	59
ガス・酸欠	1	1				2
破裂						0
その他	1	2	6	9	4	22
合計	7	18	38	48	22	133

発生場所別の出動状況

発生場所別に出動の状況を見ると、屋内が133件で、出動件数全体の62.4%を占め、屋外は80件で37.6%となっています。

(令和3年中)

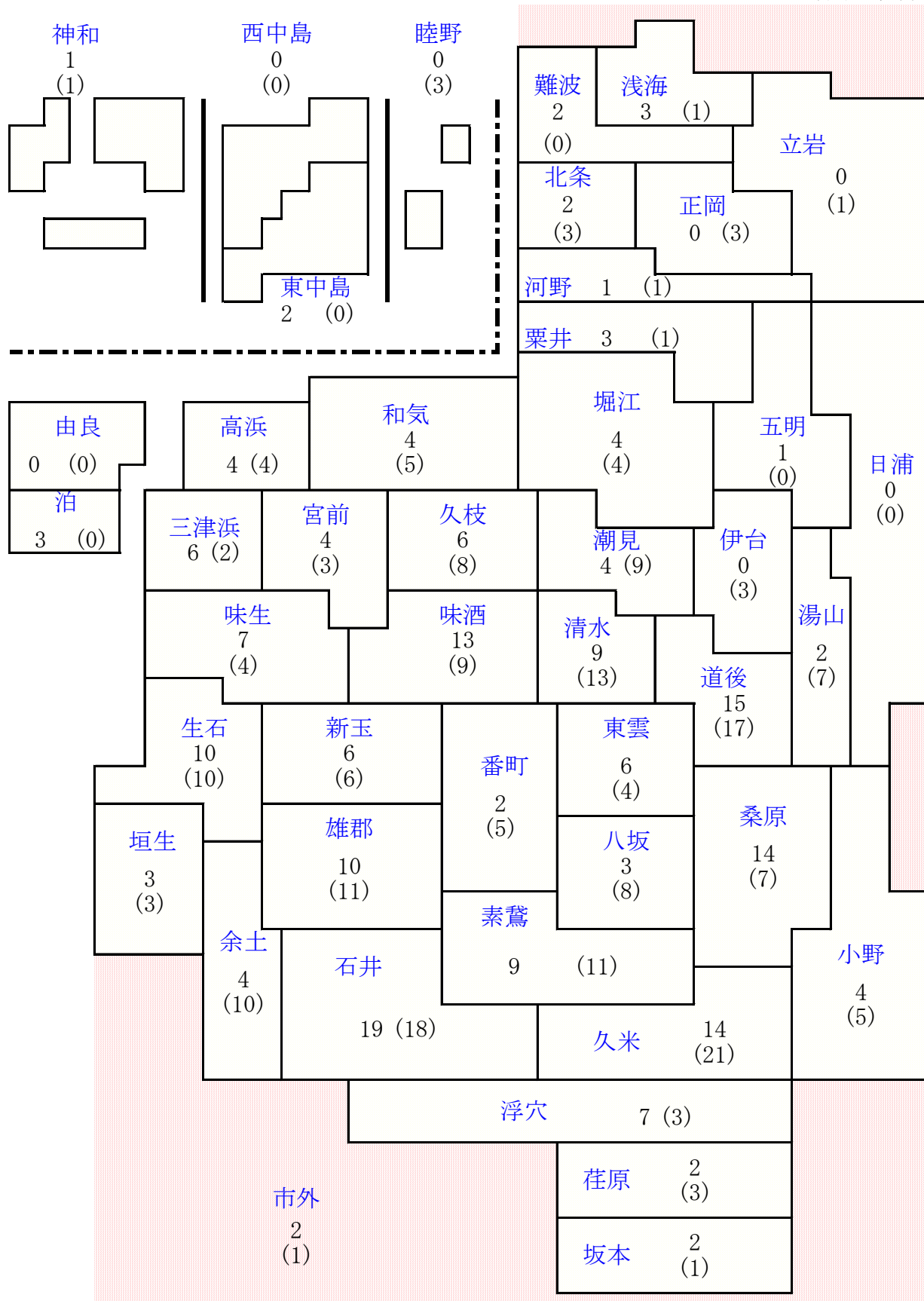
事故種別 発生場所別	火災		交通	水難	自然	機械	建物	ガス・酸欠	破裂	その他	合計
	建物	建物以外									
屋 内	17				1	3	103	3		6	133
	13				2	3	58	2		4	82
住 居	14				1		99	3		6	123
	3				2		57	2		4	68
その他の屋内	3					3	4				10
	10					3	1				14
屋 外			36	14		5	1	1		23	80
			24	5		3	1	0		18	51
高 速 道 路			1								1
			1								1
その他の道路			27								27
			16								16
内 水 面			3	5						2	10
			3	2						2	7
外 水 面				9							9
				3							3
山 岳										1	1
										1	1
その他の屋外			5			5	1	1		20	32
			4			3	1			15	23
地 下											0
											0
そ の 他											0
											0
合 計	17	0	36	14	1	8	104	4	0	29	213
	13	0	24	5	2	6	59	2	0	22	133

(注) 救助人員数

地区別救助出動状況

出動件数 213件 (前年 229件) ※ () 内は前年の発生状況

(令和3年中)



救助隊員の訓練実施状況

(令和3年中)

訓練種別		体力練成 ・訓練	ロープ 基本・応用 訓練	検索・救助 訓練	各種 救助器具 取扱訓練	各種 救助事象 想定訓練	その他の 訓練	合 計
区 分								
中央 消防署	実施延回数 (回)	1,081	69	61	95	187	0	1,493
	実施延人員 (人)	5,013	318	274	404	834	0	6,843
	延実施時間 (時間)	545.0	83.0	101.5	160.5	345.5	0.0	1,235.5
東 消防署	実施延回数 (回)	1,101	87	165	101	92	2	1,548
	実施延人員 (人)	4,739	456	724	430	387	9	6,745
	実施延時間 (時間)	550.5	182.5	323.0	153.5	150.5	5.5	1,365.5
南 消防署	実施延回数 (回)	1,095	118	125	132	88	6	1,564
	実施延人員 (人)	4,722	635	508	574	370	32	6,841
	実施延時間 (時間)	555.5	341.5	150.5	169.5	161.0	12.5	1,390.5
西 消防署	実施延回数 (回)	1,026	165	143	95	124	25	1,578
	実施延人員 (人)	4,599	838	583	382	508	105	7,015
	実施延時間 (時間)	513.0	376.5	201.5	102.5	195.0	61.0	1,449.5
合 計	実施延回数 (回)	4,303	439	494	423	491	33	6,183
	実施延人員 (人)	19,073	2,247	2,089	1,790	2,099	146	27,444
	実施延時間 (時間)	2,164.0	983.5	776.5	586.0	852.0	79.0	5,441.0

消防救助技術大会

第6回愛媛県消防救助技術大会

- ① 実施予定日：令和3年6月4日(金)
- ② 実施場所：愛媛県松山市勝岡町1163番地15 愛媛県消防学校
※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止

第49回消防救助技術四国地区指導会

- ① 実施予定日：令和3年8月11日(水)
- ② 実施場所：愛媛県松山市市坪西町 「松山中央公園」
【陸上の部】運動広場 【水上の部】アクアパレットまつやま
※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止

第49回全国消防救助技術大会

- ① 実施予定日：令和3年10月9日(土)
- ② 実施場所：
【陸上の部】北九州市小倉北区城内3番 他 勝山公園
【水上の部】北九州市八幡東区桃園三丁目1番6号
グローバルマーケットアクアパーク桃園
※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止

国際消防救助隊（IRT）

海外で大規模な災害が発生した場合に、被災国からの要請に応じて、救助活動、医療活動、災害応急対策・災害復旧のための活動を行うために組織される部隊を国際緊急援助隊と言ひ、そのうち救助活動に従事する消防救助チームが国際消防救助隊と呼ばれます。

国際消防救助隊は、英語で「International Rescue Team of Japanese Fireservice」、略称「IRT-JF」とし、愛称が「愛ある手」とされています。

現在IRTは、全国の消防本部のうち77消防本部から選抜された599名の救助隊員で構成され、松山市消防局からは6名の救助隊員が登録されています。



令和3年度国際消防救助隊連携訓練
(静岡県浜松市 浜松市消防局、旧浜松市立南庄内小学校)

MEMO